

四日市スマートリージョン・コア推進協議会 第2回幹事会 会議録

■ 日 時 令和4年2月6日（日）10:00～12:00

■ 場 所 オンライン開催

■ 出席者

（有識者）

村山顕人氏、松本幸正氏

（交通関係者）

黒川雄太氏（代理）、神谷昭彦氏（代理）、高木修司氏、中島嘉浩氏

（商工関係者・大規模権利者・事業展開企業）

速水正明氏、須藤康夫氏、鈴木主計氏、山本寛氏、中野光典氏、安達勝也氏、
中尾淳氏、荻村洋一氏

（行政）

菅良一氏、吉岡直哉氏（代理）、舘英次氏

（事業展開企業）

福田泰之氏（代理）

（オブザーバー）

国土交通省都市局街路交通施設課街路交通施設安全対策官 太田裕之氏
国土交通省中部地方整備局建政部都市整備課長補佐 梶原裕二氏（代理）
国土交通省中部運輸局首席運輸企画専門官 鈴木博行氏（代理）

■ 議事次第

1. 開会
2. 議決事項 第1号 中部電力株式会社の幹事会参加について
3. スケジュールの確認
4. 議題
 - 4-1. 第1号 四日市スマートリージョン・コア実行計画（案）の構成
 - 4-2. 第2号 ワーキンググループの設置状況
 - 4-3. 第3号 各取り組み等についてのイメージ
 - 4-4. 第4号 データサーベイの各計測結果の報告
5. 閉会

■ 内 容

【1. 開会】

<進行>

ご多忙中にもかかわらずご出席をいただきありがとうございます。ただ今から四日市スマートリージョン・コア推進協議会第2回幹事会を開催いたします。どうぞよろしくお願いたします。それでは初めにお手元の資料ご覧ください。全部で9種類の資料と別添資料お配りしております。過不足等ございませんでしょうか。

それでは冒頭、幹事会会長からご挨拶させていただきたいと思ひます。よろしくお願いたします。

<幹事会会長>

皆さん、おはようございます。お忙しい中会議に出席いただきましてありがとうございます。本日はスマートリージョン・コア推進協議会第2回幹事会ということで、主に四日市のスマートリージョン・コア実行計画(案)の構成や各WGの設置状況と各取り組み等のイメージにつきまして皆さんと意見を交わしてまいりたいと考えております。本来であれば皆さんとお会いして会議をさせていただきたいと思ひていましたが、ご承知のように新型コロナウイルス感染症が非常に拡大しており、WEB会議とさせていただきます。どうぞご了承承願したいと思ひます。よろしくお願いたします。

さて現在、四日市市では近鉄四日市駅周辺等整備事業といった名称で近鉄四日市駅からJR四日市駅の駅前広場そしてその両駅を結ぶ中央通りの歩行空間の再編に取り組んでおります。

その再編の中で情報インフラの整備、それと連動した高機能街路灯、あるいはデジタルサイネージ、先端技術の導入を検討計画しております。さらには先端技術を活用したまちづくりの課題解決や新たな魅力創出にも取り組んでいきたいと考えております。中心市街地の大規模なインフラの再編に合わせまして、日常的な課題に対応する形で様々な先端技術を実装する取り組みは他に類を見ない全国的にも珍しい取り組みとなります。これらの先端技術の活用は市だけではなく皆様の積極的な参加が極めて重要になってまいります。四日市におきましても持続可能なスマートシティの実現に向けまして皆様と忌憚のない意見交換させていただきたいと考えてございます。関係者一同一緒になって取り組んでいけるような新たなスマートサービス、これを一つでも多く見つけることができれば幸に存じます。どうぞよろしくお願いたします。簡単ではございますが冒頭のご挨拶とさせていただきます。

【2. 議決事項 第1号 中部電力株式会社の幹事会参加について】

<進行>

それでは続きまして出席者のご紹介をさせていただきたいと思ひます。本来であれば幹事会員様、企業、団体の皆様のご紹介をさせていただきたいところではございますが、時間の関係もございますので、別添の出席者名簿にて出席者の紹介に代えさせていただきたいと思ひます。ではお手元の次第に従いまして進めてまいりたいと思ひます。本日の会議は12

時の終了の予定としております。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。それではここからの進行につきましては座長をお願いいたしたいと存じます。よろしくお願いいたします。

<座長>

はい承知いたしました。

皆様おはようございます。本日は最初に新しく当協議会の参画申し込みがあった件についてお話ししたいと思います。その後スケジュールを確認した上で4つの議題について審議をいたしますので適宜ご質問やご意見を頂戴いただきたいと思います。

それでは早速最初の議題を進めていきます。当協議会及び幹事会に参画申し込みがあった件でございます。資料2のとおり中部電力株式会社様から本協議会会長への参加申し込みが提出されましたので協議会への参画を委嘱致しました。中部電力様におかれましては本協議会で実現を目指すエネルギー関係の取り組み等に対して重要な役割を果たしていただけるものと考えますので、本幹事会会長より幹事会にも参画していただくことをご提案いたします。つきましては中部電力様の幹事会参画について本協議会規約第7条第5項の規定に基づき皆様のご承認を求めたいと思います。ご承認いただけます方はリアクションボタンから拍手等のリアクションをお願いできますでしょうか。

どうもありがとうございます。それでは多数の方にご承認いただきましたので、本日の幹事会より中部電力様には幹事会員として参加していただきたいと思います。それでは中部電力様から一言ご挨拶いただけないでしょうか。よろしくお願い致します。

<中部電力>

よろしくお願い致します。電力会社という立場ではございますけれども数々の自治体様からスーパーシティ等に関するご相談をいただいているところでございます。そうした中で四日市様の取り組みに関してお力になればと思いますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

<座長>

ありがとうございます。よろしくお願い致します。

それではこの承認をもちまして当協議会の全体構成につきましては資料3の通りとなりましたので改めてご確認いただけますと幸いです。

【3. スケジュールの確認】

<座長>

それでは議題を進めていきたいと思います。スケジュールについて、詳しくは日建設計総合研究所さんから説明いただきたく思います。よろしくお願い致します。

日建設計総合研究所より資料4について説明

<座長>

スケジュールについてご説明ありがとうございました。資料4のように進めて参りますのでよろしく願いいたします。

【4. 議題】

<座長>

それでは早速次の議題に移りたいと思います。

【4-1. 第1号 四日市スマートリージョン・コア実行計画（案）の構成】

<座長>

スマートシティ化に向けた実行計画案の構成ということで四日市のスマートシティ化に向けた実行計画を具体的に策定するためにそれぞれワーキングを立ち上げて議論していただいております。また事務局としましても関係機関へのヒアリングなどを行いながら実行計画の案を策定していますのでまずは全体の目次構成や記載する事項についてご説明いただきたいと思います。再び日建設計総合研究所さんからご説明をお願いいたします。

日建設計総合研究所より資料5について説明

<座長>

ご説明ありがとうございました。最後の資料にあります通り計画の案が出てくるのは次の3月12日幹事会です。それまでにワーキングが開かれますが今日の時点では今の資料に基づいて実行計画の骨子を確認するというので、この後色々とそれぞれのワーキングの報告等もありますのでコンテンツがだんだん見えてくるという形になります。この時点でこの実行計画の構成がこれで良いかどうかについて議論したいと思いますので、ご意見やご質問がある方はご発言いただきたく思います。ではご質問やご意見がある方は挙手をお願いいたします。

A氏お願いいたします。

<A氏>

皆さん考えていただいている間に簡単な質問させていただこうと思いますが、まず最初に課題というところで全般としてリニア中央新幹線開業に伴う名古屋圏の優位性向上ということを6ページでご説明いただいております。大変重要なことだと思っておりますが、一方でやはり三重県に置いて四日市市というのは三重県の活力を牽引していく役割があると

思っています。人口も最大、産業規模も最大ということもありますので、三重県を代表するという意気込みを書いてもいいかなという気がしております。津市との関係もあるとは思いますが、端から見ている限りはやっぱり三重県を代表するという意味の意気込みを書いてもいいのかなという気がしました。

それから、この7ページの目標、四日市らしい良い目標だと思っております。これを実現するために、9ページのところで、この賑わいのあるまちが必要だと思いますが、進捗の関係からまだ02、03の分が進んでいませんが、実行計画の中でこの02や03のワーキンググループあるいは取り組みあるいは実行内容というのをどういうふうに位置づけていくのかは未定のままで出してくるのか、あるいはこれからこの先何年位で大体このワーキングを作り上げていくというようなことを書いていくのか、その辺の見通しを教えていただければと思います。以上でございます。

<座長>

今の時点で他にご意見ありましたらぜひご発言いただきたいと思っております。もしなければ市役所の皆さんからあるいは日建設計総合研究所の皆さんからA氏からご指摘いただいた2点についてご回答いただけますでしょうか。

<A氏>

1点目は市役所の方からお答えいただいてもいいでしょうか。

<幹事会会長>

今三重県を代表するということをおっしゃっていただきました。新しい知事も、やはり県の中で北勢地域が産業や財政面を引っ張っていくということを常々おっしゃっています。そういった意味では四日市市を中心とした北勢地域、三重県全体を牽引していくということには変わりないと思っておりますが、そういう三重県を代表するような一つの表現として、実は市の今の総合計画の中では四日市市は名古屋大都市圏の中の西の中核都市とそういった表現もしております。三重県に属しておりますが、実際の経済圏とか文化の面では名古屋市を中心とした大都市圏の中で四日市市の存在感を示していく。特にリニアができてリニアが名古屋市につながるということで、今の総合計画にはそういった表現をしておりますので、これを勘案しながらもう少し四日市が発展していくというような表現を入れさせていただければと思います。以上です。

<A氏>

ありがとうございます。

<座長>

それでは2点目のワーキングです。9ページの1から4まで将来像の柱がありますが、そのうち2つ目3つ目について対応するワーキングがまだないです。これは来年度以降どういう見通しとしてやっていくのかについて、もし現時点何かありましたら教えていただきたいと思います。またそのことを計画に掲載すべきと言うご指摘ご意見だったと思いますのでその点についてもお願いいたします。

<四日市市都市整備部>

Festivity & Wellness、Green& Energy はまさにデータ利活用のワーキングで、中央通りを再編してどのように使っていくか議論しており、その中で様々なアイデアが出た使い方に応じてスマート化が図られるという想定もございます。まずはインフラの部分に深く関わる部分について今年度固めた上でさらに出てくるものについては、固まる時点で新たに加えていく形で進めさせていただきたいと思っています。そういう意味ではこの5年間に完成していく間に順次盛り込まれていく形で計画が更新されていくというイメージを現在考えておりますのでご理解賜りたいと思っております。

<A氏>

ありがとうございます

それで結構だと思いますが、実行計画の所にはそういう決まってない事は書けないのでしょうか。そうすると02と03部分がこの5年間でどうなっていくかが見えない気がするので、どういう記載をされるのでしょうか。あるいは途中途中で順次更新していくので更新で決まった段階で入れていくということですか。

<四日市市都市整備部>

国土交通省のフォーマットがありますので、そこはまず出した形で書いていくということが必要で、それに応じて国の支援を得られるという形になります。将来的に使われていくものにつきましては基本的に支援を得ていきたいと考えていますので、02、03についてはワーキングが1つになるか2つになるのかまだわからないところがございますけれども、こういったものを順次変わっていくのがわかるような表現を少し工夫したいと思います。以上です。

<座長>

ありがとうございます。

私からちょっと追加で3番目についてはGreen& Energyということですね。今日は中部電力さんも入っていただきましたのでこの分野もこれから検討するようになると思います。そういう構成メンバーでFestivity & WellnessやGreen& Energyを議論できるメンバーもいるということをしつかりと記載して、何も考えてないわけではないということをし

っかり実行計画の中でメッセージとして入れていくことが大事だと思います。具体的な記載についてはお任せしますのでご検討いただければと思います。

<B氏>

ありがとうございます。その部分についてはしっかり協力をさせていただきます。

<日建設計総合研究所>

私からも追加させていただきます。賑わい等については実はデータプラットフォームワーキングの中でも、単純にそのデータプラットフォームのあり方だけではなくてどう使っていくかという観点から賑わい形成のためのサービスについて議論しております。そこで、賑わいに特化したワーキングは立ち上がっていませんが、賑わいをどう作っていくかと言う議論は大前提としてやっておりますので、その取り組みについては実行計画の中に記載する形にしていきたいと思っております。単純にそれだけを目的にしたワーキングが立ち上がっていないという話でございますので、来年度以降は例えばデータプラットフォームの中から一部、分ける可能性も含めて検討していくべきと思っております。以上でございます。

<座長>

はい。ぜひよろしく願いいたします

他に全体の構成についてご意見等何かありますでしょうか。内容が出てこないとなかなか議論できない部分があるかと思っておりますので、もし今なければとりあえず次の議題に進めさせていただいて、必要に応じてこの案の骨子についても議論できればと思います。

<A氏>

一点だけよろしいですか。5ページでコアの対象区域を設定いただいておりますが、なぜこういう区域なのかご説明いただけるとありがたいです。

<座長>

では対象区域の説明についていかがでしょうか。

<四日市市都市整備部>

スマートリージョン・コア協議会の検討区域を5ページに記させていただきますが、本市の方で都市再生整備計画というのを取りまとめておりまして、そちらの対象エリアでございます。こちら中心市街地活性化の基本計画の区域でございます。全体エリアの中の主要な拠点、近鉄四日市駅、JR四日市駅、こういった交通の拠点になっており、それを繋ぐ中央通り、こちらが今再編の事業でちょうどこちらの背骨になってくるような部分が再編に当たってくることとなっております。この中央通りの背骨を軸としてこの中心市街

地活性化エリア全体をスマート化していくというようなことを検討していきたいということでこの都市再生整備計画の設定したエリアをスマート化のエリアとして検討していきたいと考えているところでございます。このエリアの中にもう少し絞り込んでウォークアブルの区域という区域も設定し、歩きやすい街づくりを市としては進めていきたいと設定し、いるエリアでございます。よろしく願いいたします。

<A氏>

ありがとうございました。

ちなみにこれ港というのは入っていると考えるとよろしいですか。

<四日市市都市整備部>

このエリアにおいては四日市港全域は完全には入ってはおりませんが、今、港の方でもまちづくりプランというのを進めております。その一部のエリアも中には入ってきている形です。

<A氏>

では港の一部分と言う事なんですね。今再整備というか賑わいに変えようというところが入っているのですか？

<四日市市都市整備部>

港のまちづくりのプランニングが進められておりますけれども、対象区域のページで申しますと、もっと埠頭の先の方も含めて賑わいの地域を作ろうという形にしております。港は三重県と四日市市による管理組合の方で維持管理をしており、今回市の計画としては都市側で責任を持ってできる中心市街地活性化の区域を入れているという形になります。特にスマート化に関しては、本来は最終的に市全域のスマート化を図っていくとそういう形になってまいります。リーディングを講じるということで特に先進的にこの区域でスマート化をはかって強力で引っ張っていくということで設定しております。一方、港ではスマート化という意味では港のスマート化とか様々な動きがありまして、港のほうの熟度に合わせて連携を図っていくことを考えています。以上です。

<A氏>

ありがとうございました。あれもこれもと欲張ると難しいと思いますが、港は港で進むならうまく連携を進めながら、という気がしております。この区域はこれで結構だと思います。ありがとうございました。

<座長>

ありがとうございました。都市整備部がおっしゃったようにここはあくまでリーディングの地区なのでスマートシティの取り組みは、全四日市に広げていきたいということですよ。今日の資料は骨子ですのでそこまで書いていないと思うのですが、計画書にはきちんと記載するという事なのかなと思いました。それではまだいくつか議題ありますので次に進めさせていただきたいと思います。

【4-2. 第2号 ワーキンググループの設置状況】

<座長>

次はワーキンググループの設置状況ということで、昨年末に開催しました臨時幹事会でもご案内しましたが資料6、1 ページのとおりデータプラットフォームワーキングとモビリティワーキングを立ち上げて、それぞれのテーマに応じて参加企業様からアイデアを募ることや実行計画に具体的な取り組みを記載することを目標に議論や整理を進めていただいております。その進捗状況をぜひこの場で共有していただきたいと思います。それぞれのワーキングの代表企業様からご説明いただきたいと思いますので、初めにデータプラットフォームワーキングからお願いいたします。

データプラットフォームワーキング代表企業より資料6 p. 2～5 について説明

<座長>

どうもありがとうございました。

ご質問等はもう2つ報告を受けてからにしたいと思いますので、皆様ご質問ありましたら手元にメモしていただければと思います。続きましてモビリティワーキングについてお願いいたします。

モビリティワーキング代表企業より資料6 p. 6～8 について説明

<座長>

ありがとうございました。モビリティワーキンググループの進捗状況ご説明いただきました。以上が議題の第2号ですけれども、実はこれらを踏まえて議題第3号の各取り組み等についてのイメージについて各ワーキングでご検討いただいている内容をどう実行計画に反映するかという事に関連する議題でありますので次の説明もしていただいた上で意見交換ができればと思います。

【4-3. 第3号 各取り組み等についてのイメージ】

<座長>

次に第3号議案のほうに参りたいと思います。今2つのワーキングのご報告をいただき

ましたが、それと合わせて本協議会と並行して中央通り再編関係者調整会議の中でもパブリックスペースでの実現を目指すアクティビティについて意見交換がされております。それぞれの検討を網羅的に確認させていただきましてスマート化の取り組みとして実行計画に記載する具体的な内容としてどう整理していくのかというところについて議論できればと思います。今日は賑わい、交通及び安全など、テーマに応じて今検討していただいている内容をどう実行計画に反映すれば良いのか仮説をご説明いただいて皆様からもご意見いただいでさらにブラッシュアップしていきたいと思います。ということで日建設計総合研究所さんからこの仮説としてどう盛り込むか考え方についてご説明いただけないでしょうか。

日建設計総合研究所より資料7について説明

<座長>

ご説明ありがとうございました。様々なスマート技術やスマートシステム等まちの中にどう組み込まれていくのかがすごくイメージが分かる資料だったと思います。これについてはまちづくり側から見た時の様々な意見や逆にスマート技術やスマートシステムを主にやっている方のご意見があると思いますのでぜひここで意見交換できればと思います。ここまでの内容でご意見やご質問ある方は挙手の上発言をお願いいたします。いかがでしょうか。

私から1点いいでしょうか。データプラットフォームワーキングの進捗報告の中で、資料でいうと2ページ左下にスマートインフラの整備について調査をされていて表があり、データのINOUTそれぞれ153、100と数字が出ているのはどういう内容でしょうか。

<データプラットフォームワーキング代表企業>

スマートインフラの整備についてというのは中央通りで実装するスマートインフラの検討ですが、本当はこの下にもう一つ欄が必要でして、ここは皆さんと考えたサービス案等の項目があった上でこの表が入るべきところを、表が抜けておりましてわかりにくい報告となりましたことをお詫び申し上げます。

<座長>

ではこの表は、皆さんの方で様々な情報収集をされた結果がまとまっているということですね。

<データプラットフォームワーキング代表企業>

はい。別途各社様から各サービスの案やサービスでどんなデータが出るか別表でまとめております。ただ結構ボリュームがあつて今日は添付させていただいておりません。

<座長>

そうですか。データの IN、OUT というのはインプットアウトプットというイメージでしょうか。どういうところからデータ収集してどうやって出していくかの件数ですね。

<データプラットフォームワーキング代表企業>

はいおっしゃるとおりです。

<座長>

はいわかりました。ありがとうございます。それでは C 氏ご発言お願いいたしたいと思えます。

<C 氏>

ワーキングの作業のことをお尋ねしたいと思います。私ども経済団体としては傘下の様々な事業者の皆様にも情報を提供しなければいけないと考えているところですが、全体としてスマートリージョン・コアのプロジェクトが、この実行計画を策定していった後どうなっていくのかが少し我々として理解しにくいところがございます。様々な情報を提供して様々な参画の事業者さんもこれから増えてくるといいなと思っておりますし、データプラットフォームは活用する事業者さんもおられると思っております。この実行計画の策定後のイメージをどこかで明確に表現していただけると我々としても情報提供しやすいと思っております。以上でございます。

<座長>

ありがとうございます。計画策定後の展開についてもぜひ説明を加えて欲しいということですね。この件について四日市市役所さんあるいは日建設計総合研究所さん何かコメントはありますでしょうか。計画の構成に係わる話でもあるかと思いますが。

<日建設計総合研究所>

ありがとうございます。実行計画の中には冒頭ご説明しましたけれども、今後 5 年間の対象にしてどう進めていくかというスケジュールを描くことになっております。今ご説明した、先程の取り組みやサービスは仮説になりますけれども、いきなり来年から始められるものではなく、例えば最初実施をしたり、その後もう一回やったりということでステップを踏んでいくということになりますのでそういう意味では短期的にやるべきこと、中長期的にやるべき事という形でスケジュールも実行計画の中に載せていきたいと思っております。今年度作る実行計画は文字通り来年度以降 5 年間で何を実行していくかというものを示すこととなりますので、それに基づいて進めていくための計画であるということ

ご了解をいただければと思っております。回答になっておりますでしょうか。四日市市さんの方で補足ありましたらよろしくお願い致します。

<四日市市都市整備部>

今ご紹介させていただきますように今まさにワーキングの方で関連企業等と役割分担も含めて実行計画の中に位置づけようとしておるところでございます。そうした中で、直接ワーキングに係られる事業者がスマート化展開をするかといったところは直接紐づくものではなくても公共性が高いものについては、公募などを今後していくことになると思います。ただ四日市のエリアにおいてこういったスマート化が望ましいかというのは、ワーキングで今検討しているものでございまして、C氏からいただきました情報提供をもし広くしていただけるようなことであれば、展開していただいた上で、例えばワーキングの中に参画いただいて議論いただくようなことも今後は可能になってくるかと思えます。情報提供いただければお声がけ等させていただきたいなと考えております。以上です。よろしくお願いいたします。

<座長>

はいどうもありがとうございます。C氏もいかがでしょうか

<C氏>

ありがとうございます中央通り再編事業に付属してこのスマートリージョン・コア都市再生プロジェクトを続けて企画計画いただいております。なかなか国の制度の縦割りのこともありなかなか一般事業者や一般市民等にとっては仕組みが理解しにくいというように私は印象を持っておりまして、私どもも情報提供していく中で、これがどういう位置づけか整理して説明していかなければいけないと考えております。資料の中では国の制度を使っていくことも少しはうたっておりますが、その制約もあるという事はなかなか計画には表現しにくいところがあるのでしょうかけれども、そういうことも含めてしっかり説明していただけると良いと思いました。以上でございます。

<座長>

はいどうもありがとうございます。重要な部分をご指摘いただいたと思います。私もこのスマートリージョン・コアの取り組みの他に中央通り再編の話があり、さらにその中にバスタの計画があつて様々な事業が統合的に展開されているので、その辺の大きな構図と今我々が議論しているスマートリージョン・コアの実行計画の位置づけは、冒頭説明ではつきりとさせておく必要があると思います。それからもう1つは、これから5年間やっていく中で、個々の事業者の皆様や市民の皆様さん、推進のコアメンバーではないかもしれないけれどもこの取り組みにうまく参加していくような関係主体がたくさん出てくるわけ

で、そういう皆さんがうまく一緒にやっていけるような雰囲気を作るといえるのか、その有力な手段として先ほどメタバースとかデジタルツインというものも、デジタルの世界ではあるわけですが、一方でリアルな空間の中でちゃんと議論することも大事なので、我々は推進のコアにいますから、計画の中身等も一緒に議論して作っていくわけですが、関係する皆さんがうまく取り組みに乗ってくれるような雰囲気作りや資料作りというのも大事なかなと思いました。どうもありがとうございました。

はい、次にA氏をお願いします。

< A氏 >

大変重要なご指摘だったなと思っておりませんが、どの段階でそういう整理をするのか分からないですけれども、いわゆるこういう事業が進んでいった時に使いたいという人と参画したいという企業さんが出てくると思うのですが、いわゆるプレイヤーとしての参画の仕方あるいはマネージャーとしての参画の仕方が出てくるかと思えます。その辺りをしっかり仕組みとして作りながら、来年度から実証実験等々が始まりますがその時に市民の方々あるいは地元の商工会の方々が参加したい、あるいは使いたいとなった時にすぐわかるような仕組みを作っていただくと良いと思っております。そういう意味で組織のオープン化も大事だなと思っており、ワーキングの中に今後も参加がオープンできるような仕組みを作っておいてもらおうとともにそれを周知いただければと思います。

それからデータプラットフォームワーキングで考えていただいた資料6の3ページこの下の新たなサービスモデルということでこういう形になっていけばいいなと思います。1つお願いしたいのは、データプラットフォームのところオープン、さきほど組織のオープンという話もしましたがデータのオープンという話もぜひともお願いしたいなと思っております。私のイメージとしてはデータプラットフォームがオープンでAPI等で誰もがアクセスできるようになってそこから新しいサービスが生まれていく、そして生まれたサービスでお金を儲けた人はお金が戻ってくるようなマネタイズも含めた形を是非お願いしたいと思っております。ここに参加した人だけが得するというか、使えるものではなく、オープン化してオープンの結果イノベーションが生まれていくという形に是非お願いしたいなと思っております。

続きまして、モビリティワーキングですが、同じ資料の6ページ以降ですが、そもそもこのモビリティワーキングの対応にウォークブルが含まれていますが、今の段階でモビリティワーキングでご検討いただいている内容にウォークブルが欠けているなと思っております。ただ幸い資料7の取り組みの所では4ページに書かれておりましたウォークブル環境の展開というのが書かれておりましたので、是非ここに期待したいと思っておりますが、やはりウォークブルというところはしっかり念頭に置いていただきたいと思っております。モビリティ乗り物とか仕組みとかもすごく大事ですが、一番重要なのは歩ける、歩けるといえるのはまずは基本です。中央通りあるいはバスタもまず歩行者優先ですので、そこ

を大前提、そしてそこをしっかりと作っていただくというのを認識していただきたい。そういう意味ではモビリティワーキングの方も組織として、また新しいウォークブルについて考えてもらえるような主要な主体がいればぜひ参画してもらえるような取り組みを期待したいなと思っております。ちなみに現段階では自動運転や新モビリティ、MaaS等が主体でご議論いただいていると思いますので、今の段階ではまちなかウォークブルというよりはスマートムーブネットワークのほうがいいのかなという気がしております。その方が今考えていただいている内容が反映できると思っております。

それから取り組みの全体としてお願いしたいのは賑わい等、様々なストリートファニチャーやパブリックスペース等書いていただいておりますが、四日市らしさという意味では「市」、「市」をもっと表に出した表現にしてみようと「四日市らしさ」となって他の自治体では持っていない実行計画になると思っておりますので、意見をさせていただきます。以上でございます。

<座長>

はい、どれも重要なご意見をありがとうございます。組織とデータのオープン化、それからモビリティについてはウォークブルを考えなければいけないけれども、今はスマートムーブが中心になっているというお話ですね。それから「市」は計画の全体の目標として「市」が強調されているので、それを内容的にも重視するような構成でということだったと思います。もし今のA氏のご意見に対するコメントでも結構ですし、また別のご意見等ありましたらよろしく願いいたします。よろしいでしょうか。無ければ最後にまた質問の機会も設けたいと思います。

途中で何点かご意見申し上げましたので、大きな追加は無いですが、一通り内容を拝見してみますと冒頭挙げられていた目指すべき目標像1、2、3とあります。「Walkable & Mobility」、「Festivity & Wellness」、「Green& Energy」とデータの話です。これは1対1でワーキングに対応するのではなくそれぞれのワーキングでこの4つの将来像についてしっかりと考えていただいているので、資料5の9ページ記載の図で将来像とワーキンググループが1対1になっていて、02と03がまだないというふうになっていますが、これを少し柔らかくというか重なるような感じで表現したら良いのかなと思えました。実際モビリティワーキングの皆さんも03の目標について意識されているし、もちろん02も意識されていますので、その辺りのこの図の作り方はちょっと工夫すると実は様々な所でも議論出来ている、というふうに見えると思います。あともう1点、地区の脱炭素化が資料の取り組みイメージの3ページの下に書いてあって、これは中部電力さんが今日から加わっていただいたので、今後ぜひ考えていきたいと思うのですが、脱炭素化と合わせて地球環境の関係ですね。気候変動の緩和策の方ですが、気候変動の適応策も大事で、暑熱や猛暑、集中豪雨にどう対応するかっていうことも大事で、それについては実際の取り組み内容で見ると様々なところにちりばめられているので、実際は検討しています

が、気候変動適用というキーワードをぜひ3ページのどこかに入れていただくと非常に現代的な計画になると思います。以上、私からの意見です。A氏何か。

<A氏>

最近MaaS関係で様々なところで検討議論が始まっている中で、マネタイズが大きな問題になっていますが、今回のスマートリージョンに関しても特に民間の方々がこれだけ入っていただいているので国交省の補助が終わったら終わりではなく、マネタイズをどうするかというのは全体として意識していただく必要があると思っております。そこを実行計画の中でも明示しておいてもらった方がいいと思います。結局、今回スマートシティもですが持続可能性も1つの大きな柱としますので、そこにはお金を回していかないといけないと思うので、そこを意識した書きぶりというものもあっていいと思っております。

<座長>

なるほど、重要なお視点ありがとうございます。データ自体が価値を持つ時代になってきましたので、そういうところもマネタイズのヒントになると思いますし、様々なモビリティもありますし、この辺りぜひ補助が切れた後の持続可能性ということを考えると非常に重要な視点だと思います。ありがとうございました。

【4-4. 第4号 データサーベイの各計測結果の報告】

<座長>

次に移りたいと思います。次の議題データサーベイの各種計測結果の報告ということですので。こちらについても担当していただいている、日建設計総合研究所さんよりお願いいたします。

日建設計総合研究所より資料8について説明

<座長>

説明ありがとうございました。ご説明いただいたデータ計測のことや今までの議題のところでは言い忘れたことなどありましたら是非挙手の上ご発言いただきたいと思いますがいかがでしょうか。

それでは、私から1つご質問ですがこのデータサーベイとてもいいですね。今まで大雑把にしか分かっていなかったことがデータで裏付けられて、今後様々なことを考えるのに非常に有用なデータだと思いました。今年度収集されたものを分析していただいて各ワーキンググループにフィードバックしていただくのが第一ステップですけれども、次年度以降はこういう計測はどういうふうにする予定でしょうか。

<日建設計総合研究所>

ありがとうございます。現時点では今年は3月で一度取りまとめて終了となりまして、来年度以降は社会実験を行う際に同じように中央通り沿線ですとか、社会実験を行う場所の周辺において、必要な場所にセンサ等を設置いたしまして社会実験で施策として必要となる、例えば人流の疎密の評価ですとか、公園の快適度の評価をする際にこのような今年のデータサーベイと同様の分析手法、計測を用いて実施したいと考えております。

<座長>

なるほど、社会実験の効果を計測するために使っていくということですね。1点環境センサだけ少し気になるんですがどうしても社会実験というのは、大体10月頃11月ごろに実施することが多くて真夏の一番暑い時を乗り越えていたんですよね。環境センサについては出来れば年間を通してデータが取れるといいなと個人的には思います。それについて今何も決めることができないと思いますけれども環境センサを始めとしていくつかのデータ項目については社会実験開催期間以外でも収集する意義がとてもあると思いますので、これはどちらかというと市役所の皆さんに検討をお願いしたいなと思います。場合によってはもうちょっと安価にできる測定器に切り替える等様々な対応方法があるのかなと思っております。他にいかがでしょうか。

<A氏>

1つだけよろしいでしょうか。今回大変面白いデータ、興味深いデータで且つこういうことができるというのをお示しいただいたのですが、来年度以降もやられるということで、せっかくなのでこの幹事会の構成員からこんなこと取れないかというのを募っていただいて、そしてそういう計測も行ってもらいたいかなと思っております。また来年度以降ご検討ください。以上です。

<座長>

そうですね。そもそもこういうデータが欲しい等があると思いますので、ぜひ来年度の企画において関係メンバーの意見を聞いてください。ありがとうございます。後はせっかく取ったデータをダッシュボードとしてオープンにしていくことやメタバースというデジタルツインの方にも将来的にも入れていけると本当に様々な人がデータを活用できるようになると思いますので、楽しみな分野ですね。それではもし他にご意見等なければここで終了とさせていただきますと思います。

<日建設計総合研究所>

1点よろしいでしょうか。皆様どうもありがとうございます。今日資料9ということで実行計画のドラフトを皆様にお送りしています。今日時間の関係で詳しくご説明しません

けれども全体のフォーマットというのをご提示しまして今日説明した内容は概ね埋めたような形になっております。この内容を今後詰めていって次回の第3回幹事会で皆様にお諮りいただきたいと思いますので、現時点のところで皆様お時間あればお目をお通しいただいてご意見等いただきたく、別途メール等にてご連絡いただければと思います。以上でございます。

〈座長〉

ありがとうございました。またこの後ワーキングで具体的にどう議論してきた内容を実行計画に載せるかという議論をされると思いますので、その時にもぜひ今ドラフトとして出しているこの資料をご確認いただければと思います。ありがとうございました。それでは次第の内容は一通り終了しました。進行を事務局にお返しいたします。よろしく願いいたします。

【5. 閉会】

〈事務局〉

はい、ありがとうございました。皆様大変ありがとうございました。計画の収集方法であったり、データをどう使っていくか、ウォークアブルの視点等々たくさんご意見いただいたかと思います。今後、本日いただきましたご意見を踏まえましてワーキング等々開催していきながら次回までに実行計画の内容をさらにブラッシュアップできるように取りまとめの準備を進めさせていただきたいと思っております。次回の第3回幹事会は3月12日土曜日休日で申し訳ありませんが10時から予定をさせていただきます。コロナの状況でオンライン併用となるのかはまた追ってご連絡をさせていただきます。事務局としましては四日市商工会議所3階大会議室を押さえてございます。次回は先ほどもございましたように四日市スマートシティ実行計画書案を示させていただいて、取りまとめをしていきたいと考えておりますのでどうぞよろしく願いいたします。それでは以上をもちまして第2回幹事会を閉会させていただきたいと思っております。本日は活発なご議論いただきましてまた進行にご協力いただき、ありがとうございました。

—以上—